

平成29年度 前期スケルトン競技国際競技会派遣選手選考コンバインドテスト要項

1. 期日：平成29年9月9日（土）雨天決行
2. 場所：長野県障がい者福祉センター「サンアップル」陸上競技場
〒381-0008 長野市下駒沢 586 TEL026-295-3111 <http://www.avis.ne.jp/~sunapple/>
3. 主催：公益社団法人日本ボブスレー・リュージュ・スケルトン連盟（以下「日本連盟」という。）
4. 実施要項：
 - (1) 種目
 - ・30m加速走タイム計測
 - ・立ち幅跳び記録計測
 - (2) 試技順
 - ・受付時にドロー（抽選）を行い決定する。
 - ・各種目での試技順の変更は行わない。
 - (3) 出場選手義務
 - ・日本連盟への参加申し込み。
 - ・平成29年度日本連盟スケルトン競技選手登録。
 - ・傷害保険へ加入（記録会当日が保険対象日であるか確認のこと）。
 - ・ドーピング規則厳守。
 - ・未成年者の場合は、保護者の参加同意書提出。
 - (4) 出場資格
14歳以上の日本連盟スケルトン競技選手登録者
 - (5) 申込方法
日本連盟ホームページにある参加申込書に必要事項を記入の上、メール(bobskelu@topaz.ocn.ne.jp)にてお申込み下さい。
 - (6) 申込締切
平成29年9月7日（木）12：00
 - (7) 日程

・9月 9日（土）	13：00	受付開始・試技順ドロー（抽選）
	13：10	開会式・競技説明
	14：30～14：50	30m 加速走測定 1回目
	14：50～15：10	30m 加速走測定 2回目
	15：30～15：50	立幅跳び測定 1回目
	15：50～16：10	立幅跳び測定 2回目
	16：20	閉会式

* 競技の進行状況、その他により、日程を変更することがある。その場合には、すみやかに選手に通達する。
 - (8) 測定種目説明
 - 【測定1：30m 加速走】
 - ・全天候型陸上競技トラック直線レーンを使用し実施する。
 - ・0m（スタート）、30m（フィニッシュ）のそれぞれの地点にタイム計測用光電管を設置し、30mのタイム計測を行う。

- ・計測は1/100"まで測定する。
- ・各選手の試技可能回数は、2回とする。試技の1回目は必須とし、2回目は任意とする。2回目をキャンセルする場合は、1回目終了後2回目開始前までに速やかに通告係に知らせること。
- ・使用するシューズについては、陸上競技用スパイクシューズ、もしくはランニングシューズとする。
- ・陸上競技用スパイクシューズは、ピンの長さ9mm以下とし、ピンの本数は片足11本以内とする。
- ・ランニングシューズは、グリップを有利にするための突起や装置が付いてはならない。
- ・スタート形式は、スタンディングスタートとする。スターティングブロックやその他足置きは使用できない。
- ・選手は、スタートの光電管から後方1m以内に前足をセットしなくてはならない。後ろ足は1mを超えてセットしても良い。試技を開始する際には、1m以内にセットした前足を宙に浮かしてはならない。
- ・選手は、通告係のコール（試技開始の合図）があつてから30秒以内に試技を開始（スタートの光電管を切る）しなければならない。
- ・試技は、女子1回目、男子1回目、女子2回目、男子2回目の順に行う。
- ・1回目と2回目間のインターバルは設けない。
- ・試技中なんらかの理由により光電管が作動しなかった場合は、その試技回の全選手の測定が終了した後に再度試技を行う。
- ・タイム計測レーンでの練習時のタイム計測は実施しない。
- ・通告係のコール（試技開始の合図）があるまで各自ウォームアップを実施出来る。

【測定2：立ち幅跳び】

- ・陸上競技場走り幅跳びピット（砂場）を使用し実施する。
- ・両足を軽く開いて、ピット（砂場）の端が使用出来る場合にはそこに、端が使用できない場合には足置き用の板を設置しその上に、両足の拇子球付近が掛かるように立つ。助走を付けずに腕や身体で十分反動をつけてから、両足で同時に前方へ踏み切り、出来るだけ遠くに跳躍する。身体の一部が砂場に触れた最も踏み切り位置に近い地点と、両足を掛けた踏み切り位置の両足の midpoint となる端とを結ぶ直線の距離を計測する。
- ・使用するシューズは陸上競技用スパイクシューズ、もしくはランニングシューズとする。
- ・陸上競技用スパイクシューズは、ピンの長さ9mm以下とし、ピンの本数は片足11本以内とする。
- ・ランニングシューズは、グリップを有利にするための突起や装置が付いてはならない。
- ・選手は、通告係からコール（試技開始の合図）があつてから30秒以内に試技を開始しなければならない。
- ・各選手の試技可能回数は、2回とする。試技の1回目は必須とし、2回目は任意とする。2回目をキャンセルする場合は、1回目終了後2回目開始前までにすみやかに通告係に知らせること。
- ・選手試技順は、測定1（30m走）と同じ順に行う。
- ・1回目と2回目間のインターバルは、設けない。
- ・測定は1cm単位で行い、以下切捨てとする。
- ・練習時間内の試技用ピットでのウォーミングアップは可能である。

【補足】

- ・測定は、30m走1回目（女子、男子）→30m走2回目（女子、男子）→立ち幅跳び1回目（女子、男子）→立ち幅跳び2回目（女子、男子）の順に行う。
- ・測定種目間のインターバルは、基本、最終競技者の試技終了後から 20 分間とする。但し、状況によって時間を変更のする場合がある。その場合には、すみやかに選手に到達する。
- ・記録会の全ての判断はスケルトン強化部長が行う。

(9) その他

- ・本記録会で生じた事故、怪我、その他について、主催者は一切責任を負わない。
- ・本記録会結果は、2017-2018 スケルト競技国際競技会派遣選手選考に反映される。

5. 問い合わせ

(公社)日本ボブスレー・リュージュ・スケルトン連盟 事務局

TEL03 - 6804 - 9437 Email:bobskelu@topaz.ocn.ne.jp